

## ネオレスト SD1・2・3 施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

### 安全に関するご注意











安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

- 警告** 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

#### 絵表示の例

⊘ してはいけない「禁止」の内容です。

❗ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

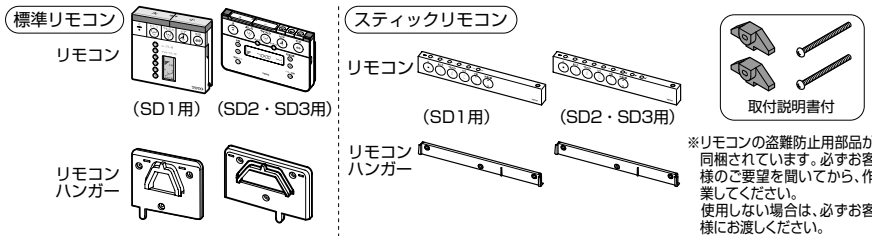
警告		注意	
	浴室など湿気が多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)		便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	交流100V以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)		給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。)		止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない (水が噴き出します。)
	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)		施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
	アース(D種接地工事100Ω以下)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)		給水フィルターを取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)
			連結ホースと分岐金具を必ずファスナーで正しく固定する (正しく固定しないとホースがはずれて水が噴き出します。)

### 取り付け前のご注意

- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力はSD1・SD2:1281W、SD3:1376Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
- 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力範囲は0.07MPa(20L/min流動時)~0.75MPa(静止圧)です。  
この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
- 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 同梱以外の給水ホースを使わないでください。

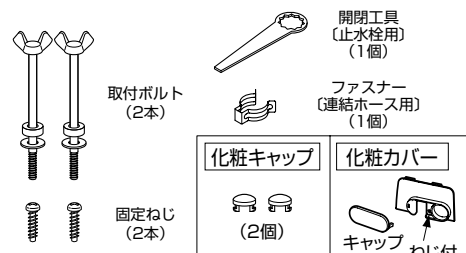
### 同梱部品

**リモコン部品** ※標準リモコンまたはスティックリモコンのいずれかが同梱されています。

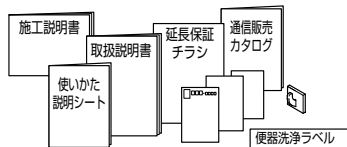


- 乾電池 (単3形×2個)
- ねじ (3本)
- アンカープラグ (3本)

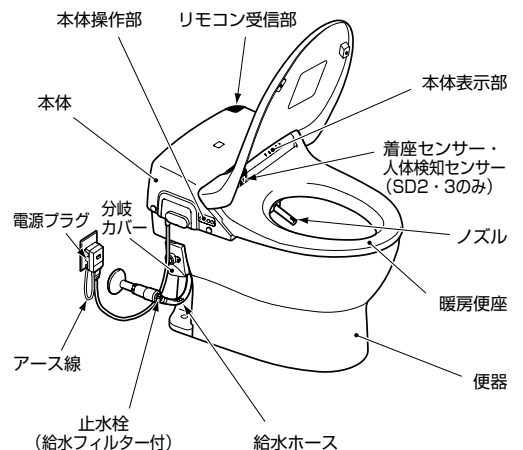
**ウォシュレット本体固定具他** ※工具は施工後必ずお客様にお渡しください。



取扱説明書、施工説明書(本書)  
使いかた説明シート  
アンケートはがき、延長保証チラシ  
申込はがき、振込用紙  
フック、通信販売カタログ  
便器洗浄ラベル(スティックリモコンのみ)



### 各部のなまえ



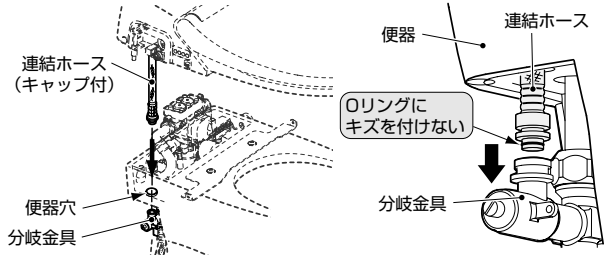
## ■ 施工の手順は次の通りです

この施工手順に従ってウォシュレットを正しく取り付けてください。詳しくは「**取付方法**」をご覧ください。

- 1 ウォシュレット本体を便器に**取り置き**する  
※便器に固定しない
  - 2 **連結ホースと分岐金具の接続**  
※試運転まで止水栓は開けないこと
  - 3 **便器洗浄バルブ用コネクタの配線**
  - 4 ウォシュレット本体を便器に**固定**する
  - 5 **アース線の接続**
  - 6 **電源プラグの確認**
  - 7 **リモコンの取り付け**
- 試運転(作動・水漏れチェック)をする → 分岐金具部に分岐カバーを取り付ける

### 注意

- 連結ホースを便器穴に通すとき、ホースが折れないように注意する(ホースが折れると水漏れの原因になります。)
- 連結ホース先端のOリングにキズを付けない(Oリングにキズが付くと水漏れの原因になります。)



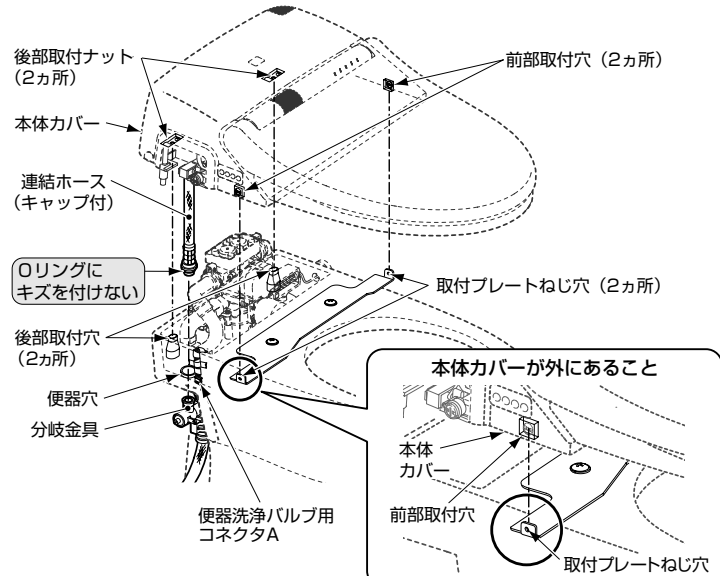
## 取付方法

### 1 ウォシュレット本体を便器に**取り置き**する

#### 注意

※ウォシュレット本体の固定は必ず連結ホースを接続したあとに行ってください。(先にウォシュレット本体を固定すると連結ホースの接続がしにくくなります。)

- 1 連結ホース先端のキャップをはずす
- 2 連結ホースを便器穴に通す  
※便器洗浄バルブ用コネクタAを挟み込んでいないか確認してください。
- 3 前部取付穴を取付プレートねじ穴に合わせて便器に取り置きする



## 2 連結ホースと分岐金具の接続

### 注意

※連結ホースを接続する前に止水栓を開けないでください。水圧がかかり連結ホースの接続がしにくくなる場合があります。

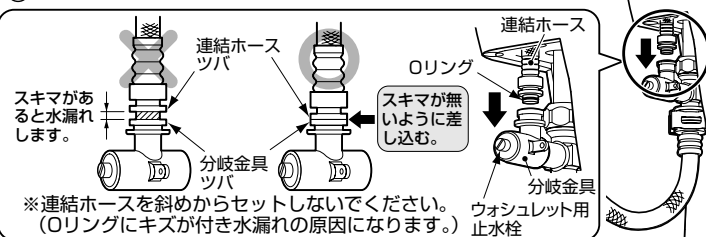
※水圧の抜き方

- 1 止水栓を閉める。
- 2 分岐金具のウォシュレット用止水栓を開けた状態で便器洗浄つまみ(レバー)を操作する。



### 1 連結ホースを分岐金具に接続する

- 1 連結ホースを分岐金具に確実に差し込む

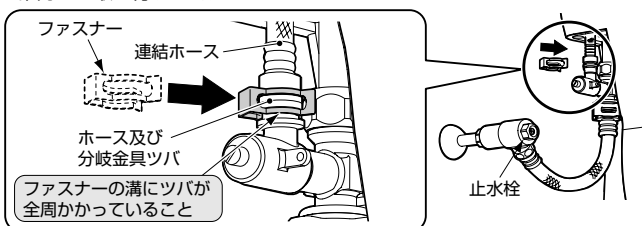


### 2 ファスナーで連結ホースと分岐金具を固定する

- ※確実にセットされホースが抜けないことを確認してください。
- ※確実にセットしないとウォシュレットが使用できません。
- ※分岐カバーは試運転で水漏れがないことを確認して取り付けてください。

### 注意

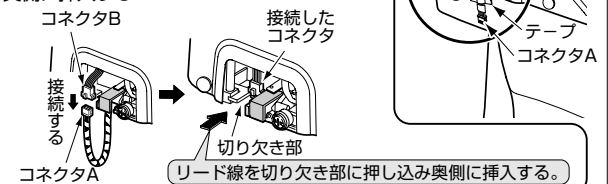
連結ホースと分岐金具を必ずファスナーで正しく固定する(正しく固定しないとホースがはずれて水が噴き出します。)



## 3 便器洗浄バルブ用コネクタの配線

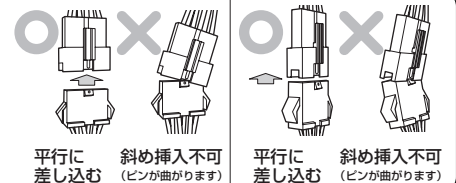
### 1 便器洗浄バルブ用コネクタを接続する

- 1 コネクタAのテープをはずす
- 2 コネクタBを引き出し、コネクタAと接続する(無理に引き出さない) ※コネクタの接続が確実か再確認してください。
- 3 接続したコネクタA、Bを本体の中に取りめる
- 4 コネクタAのリード線を切り欠き部に押し込み、奥側に挿入する



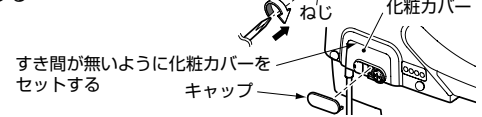
### 注意

斜めで押し込むと作動不良になります。



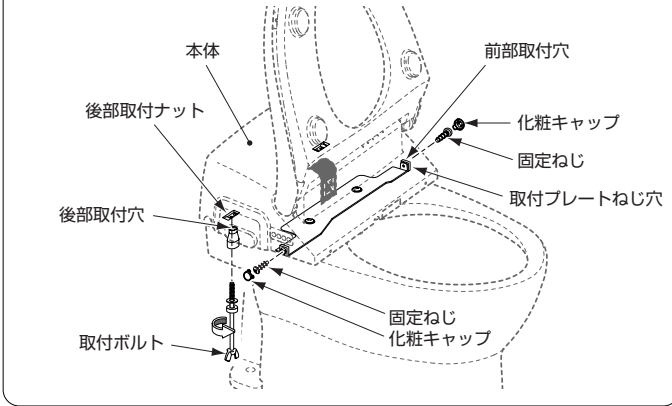
### 2 化粧カバーを取り付ける

- 1 化粧カバーをセットしてねじで固定する
- 2 キャップを化粧カバーに取り付ける



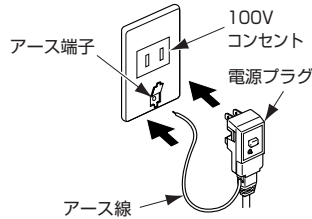
## 4 ウォシュレット本体を便器に固定する

- ①便座・便ふたを開ける（キズ防止及び施工をし易くするため）
- ②前部取付穴と取付プレートねじ穴を合わせ、固定ねじ（2カ所）で締め付ける  
※固定ねじが締め付けにくいときは、本体を押さえてください。
- ③後部取付穴に取付ボルト（2カ所）を差し込み、後部取付ナットに締め付ける
- ④再度固定ねじ、取付ボルトの増し締めを行って確実に固定する
- ⑤前部取付穴に化粧キャップ（切り欠き部が下）を取り付ける



## 5 アース線の接続

- アース線をコンセントのアース端子に接続する
- ※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



## 6 電源プラグの確認

注意 (SD2・SD3のみ)

電源プラグを入れて最初に便ふたが開くとき、障害物に当たると次から便ふたが途中で止まることがあります。（最初に開いた位置を記憶します。）障害物がない状態で電源プラグを一度はずしてから差し込み、リモコンの または を押ししてください。

### 1 電源プラグを100V（50/60Hz）のコンセントに差し込む

- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

### ヒータ付便器の場合（凍結のおそれがある場合のみ）

便器ヒータ用電源プラグをコンセントに差し込み、ウォシュレット用電源プラグを便器ヒータ用電源プラグに差し込んでください。

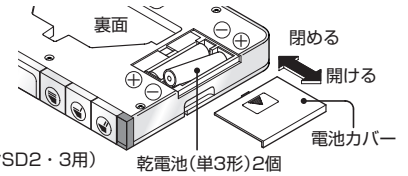
### 2 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

- 「切（テスト）」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
- 「入（リセット）」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
- 以上のように入力すれば正常です。
- 「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。テスト後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。

## 7 リモコンの取り付け

### 1 電池カバーを開け、リモコンに電池を入れる

※ $\oplus$  $\ominus$ を間違えないでください。



（図は標準リモコンSD2・3用）

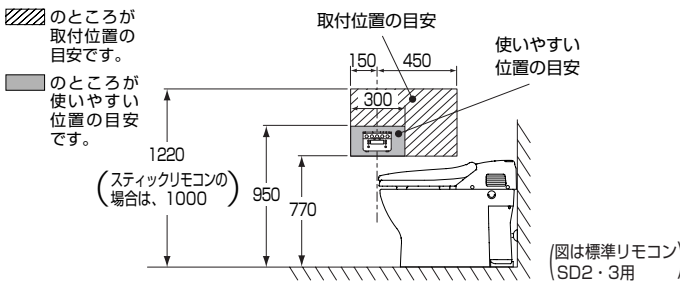
## 2 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める

### ＜操作性の確認＞

- 便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。

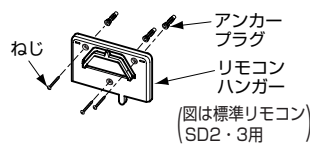
### ＜作動の確認＞

- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、下図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。



## 3 リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

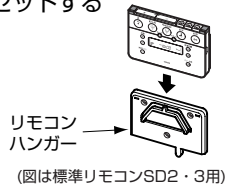
- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



スティックリモコンには盗難防止用の部品が同梱されています。

リモコンを固定する場合に使用してください。（必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。）  
取付方法は同梱の説明書をご覧ください。

## 4 リモコンをハンガーにセットする

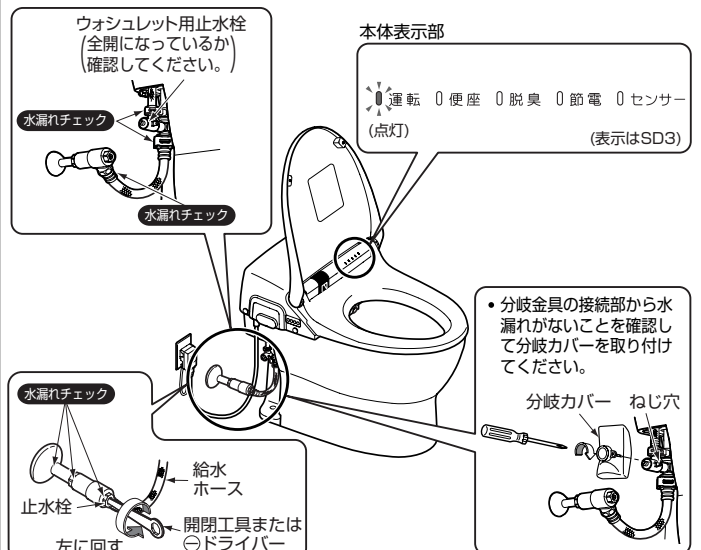


## 試運転

- 試運転の前には必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。（「入」のときは「運転」ランプが点灯します。）
- 「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。
- お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。

## 1 水漏れの点検



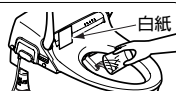

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、ファスナーが正しくセットされているか、再確認する
- 止水栓（2カ所）を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
- ※万一、水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。

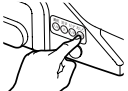




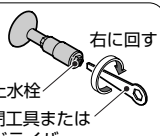
# 試 運 転

## 2 機能の確認 (便座を開けないと着座センサーははたらきません。)

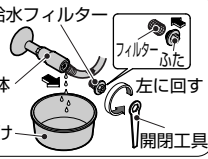

- 1 オートプレ洗浄を確認する (SD2・3のみ)
  - 「オートプレ洗浄入/切」スイッチを「入」にします。
- 2 着座センサーを白紙でおおう
  - 白紙でおおうと着座センサーが検知します。検知するとノズル付近から数秒間水が出ます。
  - 便器ボウル面に少量の水が流れますか?確認後、「オートプレ洗浄入/切」スイッチを「切」にしてください。
- 3 脱臭機能を確認する
  - 本体の右側面の吹出口より風が出ていますか?
- 4 パワー脱臭機能を確認する
  - 「パワー脱臭入/切」スイッチを押すと脱臭音が大きくなりますか?
  - もう一度、「パワー脱臭入/切」スイッチを押すと通常の音に戻りますか?
- 5 洗浄機能を確認する
  - 「おしり・やわらか・ビデ洗浄」スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか?
  - ※水が出ないときは取付方法 ②を確認してください。
  - 「水勢調節」スイッチを押すと水勢が変化しますか?
  - 「止」スイッチを押すと止まりますか?
  - 吐水は紙コップなどで受けてください。
- 6 乾燥機能を確認する
  - 「乾燥」スイッチを押すと温風がノズルの右側から出ますか?
  - 「止」スイッチを押すと止まりますか?
- 7 室内暖房機能を確認する (SD3のみ)
  - 「室暖入/切」スイッチを押すと本体の右側から温風が出ますか?
  - 再度「室暖入/切」スイッチを押すと約10秒後に温風が止まりますか?
  - 室温が20~33℃のときは20秒間だけ風が出ます。それ以上の室温のときは温風は出ません。
- 8 暖房便座機能を確認する
  - 便座があたまるまで約15分かかります。

- 9 着座センサーの白紙をはずす
- 10 オートパワー脱臭機能を確認する
  - 脱臭音が大きくなりますか? • 1分後に自動で止まりますか?
- 11 オート洗浄機能を確認する
  - 約5秒後に自動で便器洗浄しますか? (SD1のみ)
  - 便座・便ふたを開け便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約3秒後に自動で便器洗浄しますか? (SD2・3のみ)
  - ※便器の水の流れが悪い場合は、給水圧が低い可能性があります。そのときは便器部の施工説明書に従って給水圧を調べてください。
- 12 リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する (SD2・3のみ)
  - 「リモコン便座・便ふた開閉」スイッチを押すと便座・便ふたが開閉しますか?
- 13 リモコン便器洗浄機能を確認する
  - ※オート洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは10秒以上間隔をあけてください。
  - 「リモコン便器洗浄」スイッチを押すと便器の水が流れますか?
- 14 オート開閉機能を確認する (SD2・3のみ)
  - 一度便座・便ふたを閉めて便器から離れてください。便器から離れて約10秒経過した後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか?
  - 便ふたが開いた後、便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座・便ふたが自動で閉まりますか?
- 15 流動による凍結予防の確認をする
  - ※着座センサーが検知するとおしり洗浄しますのでご注意ください。
  - 次の操作により一定の間隔で水を流して凍結を予防します。
  - ① 本体操作部の「おしり入/切」スイッチを10秒押す
    - 「運転」ランプが点滅しますか? • 5分後にノズルの根元から水が出ますか?
    - さらに5分後に便器洗浄しますか?
  - ② 確認が終わったら再度「おしり入/切」スイッチを10秒押す (凍結予防をやめます。)
  - 本体の「運転」ランプが点滅から点灯に変わりますか?
  - ※必ず運転ランプを点灯の状態にしてください。

## 給水フィルターの掃除

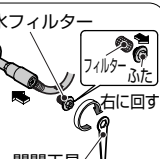

- 給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。
- 1 止水栓を閉めて給水を止める
    - 止水栓を付属の開閉工具で閉めてください。

**注意**

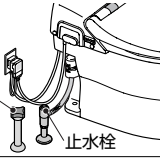
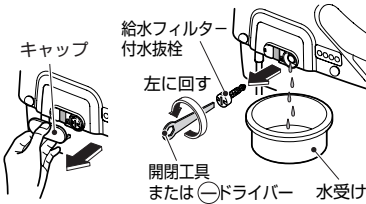

止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない  
 禁止 • 水が噴き出します。
  - 2 給水フィルターをはずす
    - 開閉工具でフィルターのふたをはずします。
    - フィルターと一緒にはずれます。
  - 3 掃除をする
    - フィルターを取りはずし、網目に詰まったゴミを水洗いして取り除いてください。
    - ※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
    - ※止水栓本体の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。
  - 4 給水フィルターを取り付ける
    - 元のように組み込み、開閉工具でフィルターのふたを締めてください。

**注意**

給水フィルターは確実に締める  
 必ず守る • 確実に締めないと水漏れの原因になります。


  - 5 止水栓を開ける
    - 止水栓を開閉工具で開けてください。
    - 止水栓及び配管接続部から水漏れしていないか確認してください。

## 凍結のおそれがあるときの処置 (ヒータ付便器・水抜併用方式の場合)

- 次の手順で水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。
- 1 水抜き栓を操作して給水を止める
    - 止水栓は開けたままにしておいてください。
  - 2 配管の水を抜く
    - ① 本体のキャップをはずす
    - ② 給水フィルター付水抜き栓をゆるめた後、引っ張ってははずす
    - ③ 水抜きが終わったら給水フィルター付水抜き栓を押し込み確実に締める
  - 3 ノズル内の水を抜く
    - ① リモコンの「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す
    - ② 水抜きが終わったら、もう一度「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す (ノズルを元に戻します。)
  - 4 ウォシュレット内の水を抜く
    - ① 水抜きレバー (灰色) を引く
      - 本体下側から約10秒間、水 (約40ml) が便器内に出ます。
    - ② 水抜きレバーを元に戻す
    - ③ 本体にキャップを取り付ける
  - 5 電源プラグを抜く
  - 6 便器内の溜水を処置する

### 工事店様へ

● 開閉工具は施工後必ずお客様へお渡しください。● スティックリモコン用の盗難防止用部品を使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。  
 ● 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。  
 ● ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してあげてください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。